

小鹿野町政策審議会 会議録

会議名称	小鹿野町政策審議会（第13回）		
日時	令和2年1月20日（月）		
開会時刻	15:30	閉会時刻	16:17
開催場所	小鹿野庁舎 第一会議室		
出席委員	小松 征三、宮林 茂幸、吉田 朗、今井 敏夫、宮本 一輝、山口 清文、黒澤 忠弘、須崎真紀子、萩原 淳司、塩田 浩司（オブザーバー）、権藤 文義（オブザーバー）		
欠席委員	坂本 泰孝		
執行部・事務局出席	小鹿野町長 森 真太郎、小鹿野町副町長 長谷川 伸一 小鹿野町教育長 笠原 浩、総務課長 新井 昇、まちづくり推進室長 黒田 佳之、総合政策課長 分須亮太郎、産業振興課長 石田 伸二、総務課主幹 田嶋 哲也		
配布資料	第13回小鹿野町政策審議会次第 第12回小鹿野町政策審議会 会議録 定住・移住・交流人口の増加施策について（答申）（案）		

小鹿野町政策審議会 会議録

発言者	会 議 の 概 要
総務課長	<p>1 開会</p> <p>それでは、第13回小鹿野町政策審議会を開催させていただきます。</p> <p>なお本日、坂本委員より欠席の連絡をいただいています。本日の傍聴希望者は現在のところ4名です。</p> <p>はじめに小松会長よりあいさつを申し上げます。</p>
小松会長	<p>2 あいさつ</p> <p>改めましてあけましておめでとうございます。我々の任期1月25日が迫っているところですが、いただいた諮問に本日答申できることになりました。任期中に事務局の課長と主幹が交代するということがありました。会議もスムーズに、答申も特に今回は短時間で委員の意見をまとめていただき感謝しています。2年間皆様の意見を聞かせていただき、この答申について町には意見を尊重していただき、町を良くするよう努力をお願いしたいと思います。</p>
総務課長	<p>続きまして、小鹿野町長 森真太郎よりあいさつを申し上げます。</p>
町長	<p>みなさんこんにちは。本日はお忙しい中、政策審議会に出席いただき大変ありがとうございます。2年間の任期が終えようとしています。今日を含めて13回の会議を開催していただき、皆さんには様々な意見をいただきましてありがとうございました。答申を受けて、実行をするのは町、また関係する方々になりますが、2つの答申を重く受け止めて町の施策に反映していきたいと考えております。今、予算編成作業も佳境に入ってきていますが、いち早く実践できる答申については実行していきたいと思っております。皆様の任期は終わりますが、色々な立場で今後も町の行政推進にご助言を賜ればと思います。本日は大変ありがとうございます。</p>
総務課長	<p>次に議題に入りたいと思っております。</p> <p>議長につきましては、小鹿野町政策審議会条例第6条の規定により、小松会長へお願いしたいと思います。</p> <p>小松会長よろしくお願いいいたします。</p>
小松会長	<p>3 議事</p> <p>それでは議長ということで議事を進行させていただきます。</p>
小松会長	<p>(1) 会議録署名委員の指名について</p> <p>議題(1)会議録署名委員の指名についてですが、こちらにつきましては須崎委員、吉田委員を指名します。</p> <p>よろしくお願いたします。</p>
小松会長	<p>(2) 第12回会議録について</p> <p>次に、第12回会議録についてですが、開催通知と一緒に第12回会議録を送付しましたが、記載内容、誤字等がございましたら、ご指摘をお願いします。</p>
事務局田嶋	<p>一点修正をお願いします。会議録1ページ目の出席委員の名前が間違っております。オブザーバーの名前が権藤文博さんとなっておりますが、権藤文義さんでございます。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録

	す。申し訳ありません。修正をお願いいたします。
小松会長	他に意見はありますか。無ければこれで第12回会議録を確定します。
小松会長	(3)定住・移住・交流人口の増加施策について(答申)(案) 次に、議題(3)定住・移住・交流人口の増加施策についてですが、内容について事務局より説明をお願いします。
事務局田嶋	第10回の政策審議会において諮問を受けました「定住・移住・交流人口の増加施策について(答申)(案)」ですが、前回の第12回の会議まで3回の会議を開催し、前回会議では委員の皆さんに提案をいただきました。そのいただいた意見を、今回答申としてまとめましたので、答申書として朗読させていただきます。 (答申書を朗読)
小松会長	ありがとうございました。 何か意見はありますか。また、この答申に入れなくても補足の説明や意見がありますか。無ければこれを答申と決定してよろしいですか。
	(はい。の声あり)
小松会長	それでは、これを答申と決定します。只今から町長に答申書をお渡しします。
	(会長から町長に答申を渡し)答申です。よろしくをお願いします。
町長	ありがとうございました。
今井委員	今、答申を行いました。最後ですのでもう少しお時間をいただいてフリーディスカッションをしたいと思います。何か意見はありますか。先生どうですか。
宮林委員	ご苦労さまでした。素晴らしい答申になりました。これをどう進めるかが重要です。例えば答申の中に整備という言葉が使われていますが、整備ということ言うとコミュニティ循環、経済循環あるいはインフラ循環とか、循環するシステムをいかに構築するかが重要な要になります。例えば、定住の住宅には小鹿野の地場ものの材を使うとか、小鹿野学、小鹿野の学びの良さ、ここに来ると学べて育ててみんなで共有できるシステムを作っていくことがこの答申をさらに生かすことになると思います。地方創生の2期目に入りますが、1期は勝ち組と負け組が明確に分かれました。おそらく3期は無くて合併問題になるだろうと踏んでいます。そこでコンパクトシティとか、25万都市構想が確立するよう持っていきがします。そこに乗り遅れないようにする為には個々に小鹿野の整備をする必要があると思います。また、ここ最近災害が非常に多いことから上中下流の目が上流に向いていますので、これも上手く戦略的に用いて展開することだと思います。末広に将来はあり、自然もある。その辺を前面に出して答申を一つ一つ丁寧に積み上げていくことが重要だと思います。ありがとうございました。
小松会長	ありがとうございました。では、吉田委員お願いします。
吉田委員	一つ目の「産業振興の活性化について」の諮問で、小さな工房村を作ったらどうかという提案をしましたが、たまたま今、秩父手仕事職人さんが「よさげ」というイベントを矢尾百貨店で開催しており、町長も昨日行ったと聞いています。15業者くらい出店されて

小鹿野町政策審議会 会議録

	<p>おり、内 3・4 社が小鹿野の人です。木工や手まり、帽子などを作っていますが、皆さん作っても売るのがどうしたら良いか困っています。店舗を持たずにこういったイベントでとなると生活費を稼げるとまでは必ずしも行かない。高齢の方が多くネットを利用して売ることが不得手だという話もあったので、そういったものも販売できるような場を振興公社で作ったりすれば、より裾野は広がっていくのではと思いました。小鹿野町の産業のポータルサイトみたいなものを作ってそこに登録した業者の作品を売ることではないか。それを手掛かりに小鹿野町に来ていただく。ミニマムな雇用をそういった場所で構築していく。小鹿野高校では竹明かりを作成し、氷柱ができなくても尾の内ですらライトアップを行うそうです。彼ら彼女らが自ら作ったものを販売でき、それなら小鹿野に住めるじゃん、というイメージを醸成することは非常に大切だと思う。ここだったらこんなことが出来るな、という可能性を広げておく。場所、東京までの時間、住むためのインフラは問題無いので、鉄道が無いことを逆にアドバンテージにして、その中で工房村が出来たとすれば将来的には最高だと思います。長い間ありがとうございました。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。では、黒澤委員お願いします。</p>
黒澤委員	<p>小鹿野町に本当に必要なものは生活の糧を稼げる職だと思います。職場が最優先だと思います。医療も教育も住宅も重要だとは思いますが、私たちの時代は 9 割以上が自然に小鹿野高校に行くものでした。今は私立も含めて違う高校に進む方が増えて、若い世代から小鹿野町への意識が遠くなっているのではないかと思います。私たちの時代でも少しでも雇用条件の良さをみて都会へいく方がいましたが、今は顕著になっており、少なくなった子が益々地元に残ってくれないという傾向になりつつあります。まずは地元の人が地元に残るよう安定した職場が必要だと思います。また、今年は尾内の氷が出来ず、専門家も今後も温暖化が進むと言っており、地元も今後のイベントに不安を感じています。人を呼び込める施策を氷柱、花や歌舞伎も含めて増やしていければ良いと思っています。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。では萩原委員お願いします。</p>
萩原委員	<p>この審議会では外から視線を求められていると考えていますが、今日街中を歩いていると、秩父かぼすのポスターに「秘境の地 秩父」とありますが、このアピールも良いのですが、近い、アクセスしやすい、でもすごいものがあるんだよとアピールした方が良いと思います。また、小鹿野町の地図がついているのですが、どこからどうに行けば良いのかわからないものになっています。私は県北の出身ですが、観光と言えば群馬へ行っていました。なぜ秩父まで来なかったのか、それは宣伝がありませんでした。今、秩父は盛り上がっていますので、その中でしっかり小鹿野町を位置づける。ポテンシャルはあります。町のまとまりも人口 10000 人を割る割らないと言っている割には市街地がきれいにまとまっていて、これは珍しいことです。空いたところは、ここで誰か店やらないかと丁寧に相談に乗ってあげれば手は上がると思います。秩父市内はこじやれた店がいっぱい出来ていますので、それをこちらにも持ってきてもらえればと思います。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。では、須崎委員お願いします。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録

<p>須崎委員</p>	<p>地域おこし協力隊の方に定住してもらいたいのので、地元の企業や宿・お店が協力して後押ししたいと思います。カボスは「黄金の雫祭」ということで、採り切れなかった完熟カボスを、去年3店舗だったものを17店舗が参加して食べ歩きができるようにして、フェイスブックやインスタでも検索に係るようにしています。今日も NHK さんの取材が入っています。並行して、旅館業は来てもらって食べて楽しんでもらう部分もあるので、秩父インバウンド協議会で料理コンテストを実施しました。67品が出品され、高校生が2・3位を獲得しました。色々なレストランにも入っていただいたにも関わらず、秩父農工の生徒の料理が2位、小鹿野高校の生徒の料理が3位でした。若い発想にこちらも協力したいと思っています。また、子育て世代のお母さんの意見を一つ言わせてもらおうと、第1・2子に子育て支援金 50000 円、18 歳以下医療費無料、給食費全額免除と小鹿野町は子育て支援が非常に厚く、アピールすべきところだと思います。また、お母さんの産後ケアもあると良いなと思います。いろいろとありがとうございました。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。では、山口委員お願いします。</p>
<p>山口委員</p>	<p>私の現役の頃、会議会議でどうしたら新聞の部数を増やせるかでした。部数を増やすことが増収とはっきりしているが、町はちょっと違う。企業は赤字の場合は赤字だが、町の場合、それが町民の為なら形の上で赤字でも実際は黒字ではないかと思っています。カボスはやってもらっているが、カボスも歌舞伎も決定打にはならない。決定的なシンボルが欲しい。人がいっぱい来る新庁舎とか。ボルダリングも決定打にはならないが、一年は町民をタダにしてはどうかと考えています。ボルダリングの良いところは一人でできることです。一年無料で町民に使ってもらって、一年後に有料にする。そして一割でも趣味になってくれればと思います。長く、これから 10 年、20 年やるなら思い切ってタダにしたらどうですか。</p> <p>それと、移住相談ですが、来てもらうより、町民の定住相談した方が良いのではないかと。出るのを止めることが大事だと思います。ありがとうございました。</p>
<p>小松会長</p>	<p>ありがとうございました。では、今井委員お願いします。</p>
<p>今井委員</p>	<p>小鹿野町が観光を頑張っていこうと考えていますが、バイクは商工会でやっているのか、町でやっているのかわからない状態で、ダリアについてもどこが中心なのかわからない。大きな観光地に行くと観光課はしっかりしている。小鹿野町も答申で地域商社を作るとなったら、その中に一括で観光課を作ったかどうかと思います。そこに問い合わせればすべてわかるものになる。言い方は悪いが押つけっこになっている。前の町長のやっていたものをやるのは嫌だとかいう時代では無いと思います。良いことはやらなければなりませんし、バイクによる町おこしをバイクはうるさいから止めるとなったが、バイクで無かったら何で来るのか。町には鉄道は無い。東京から小鹿野町は近いと言うが、あくまでも西武鉄道の特急を使うと西武秩父駅までは近いという話で、小鹿野町にはそこからバスで 20, 30 分かかる。また、今年、草加市のアパートの物件で会社から資材を運びましたが、1便目は朝 4 時出発だったので、問題無かったのですが、最終便の朝 9 時に出了た便は渋滞にはまって 5 時間かかりました。決して近くないと感じ、</p>

小鹿野町政策審議会 会議録

	<p>もっと本気で考えないと町は良くなれないと感じました。審議会では素晴らしい人たちによって、この素晴らしい答申が出来たので、町長には腹をくくっていただき、一つ一つ実行に近づけていただきたいと思います。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。では、塩田さんお願いします。</p>
塩田オブザーバー	<p>私は第4回から10回出させていただきました。2本の答申の内容は盛りだくさんでこれからお金の部分であるとか、まだまだ決めなければならないことなどハードルは高いと感じますが、できることから始めるのも大事ですが、一番効果があるところに軸足を置いてもらえれば皆さんの審議結果が良い形で実を結ぶのではないかと思います。今年には2020年、5G元年と言われており、銀行もデジタル化を進めています。政府はSociety4.0で人手不足、人に代わるものを通信スピードなどの技術で補おうとしています。銀行もなかなか人が集まらなくなっており、省力化が進んでいます。離れているからできないということだけでなく、ローコストオペレーションでどうやったら進められるかも今後考えていただければと思います。ありがとうございました。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。では権藤さんお願いします。</p>
権藤オブザーバー	<p>私は直近2回だけ参加させていただきました。来るに当たり、ホームページ等調べると魅力があり、行ってみたい場所があります。なぜ今まで知らなかったのか。情報が無いから行かないということもあると思うので、発信の仕方は重要であると感じました。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。では私からも2つばかりあります。1つは春祭りが中止になる。山車を持っている市街地の4町内は大変な状況です。役員名簿を見るとほとんどの方が兼務になっており、一度町でこの家は何年になると無くなるとマップに落とすと良い。というのは、4町内に祭りができる人がいなくなっている。だから春祭りも2年後、3年後、金銭的にも人数的にも出来なくなるような状態に陥ると思います。したがって町の職員は腹をくくって町民の為に何をやるということを考える必要がある。職員の皆が考えれば自ずと答えは出ると思います。またその責任があると思います。それから今年の私にきた年賀状に特徴的なものが2つあり、1つは千葉の災害が秩父に起きると東京が被災すると。三山の開閉所が地すべりでダメになると、東京都南半分の2/3が停電するらしいです。管理はどうなっているかと。森林環境税は人口割なんてとんでもない。森林があるところで使ってもらわなければならない。私もそういう持論です。管理してもらわないと千葉と同じようになる。もう1つは小鹿野町の個人の農業は皆廃止したらどうですか。法人化して大規模にする。都会の人間は疲れている。農業をやりたい若者は多いと。農業を町の産業として法人化してやったらどうですかという年賀状がありました。もうひとつは参考ですが、今年の1月3日一日だけで小鹿神社にバイクが来て、御朱印で40000円分、お賽銭で10000円分あったそうです。かなりの人が来ています。観光は目玉があると人は来ると思いました。小鹿神社の経営はバイクのおかげで裕福になったそうです。</p> <p>以上、その他言い残したことはありませんか。</p>
吉田委員	<p>一昨年、バンビサービス協同組合が解散するにあたり、小鹿野シルクロード商店街が</p>

小鹿野町政策審議会 会議録

	<p>できまして、町からの話もあり地域商品券を発行したりとか、少しでも商業を活性化しようという中で、今年の一つの目標として、折角小鹿野高校の生徒が竹あかりを頑張っているので店頭にも竹あかりを灯そうという話が持ち上がりまして、すでに須崎旅館の前にはありますが、だんだん増やしていった今年のごろには夜になると竹あかりが光を灯しだすというふうになっていくと思います。今、町に住んでいる事業者であり商工業者の意識改革、人を呼んでくるために何をしたら良いかというところが必要だと思います。たまたま先日テレビで銀山温泉を見ましたが、夜景の素晴らしいところです。部屋の中の明かりが全部外に漏れており、すごく雰囲気の良いところです。かつてバブルの頃、コンクリートの建物になったものが寂れていく中で、銀山温泉は明治頃でしょうか、洋風建築が入ってきて建てた建物があって、それをそのまま使っている。ただ、仕掛け人がいて、全ての旅館の主を集めて、銀山温泉の入り口に並んで、あそこを無くしたら、あそこをこうしたらもっと景観良くなりませんか、とやったそうです。ヨーロッパに視察にも行ったそうです。景観とは何か。ランドスケープデザイン、景観デザインがなされているから綺麗に見えるということを旅館の主に学んでいただいて今の銀山温泉に至っているそうです。昔ながらの建物をきちんと保存されている。大きな改革として、銀山温泉に車を入れないようにしたそうです。歩いて見てもらう。それを小鹿野町に当てはめたときに果たして可能か。多分可能です。小鹿野町は通りの南北に細い通りがあり、ほとんどのお店は秩父往還に面して、裏口は裏通りに面している。そういう中なら車を止めても十分可能ではないかと思います。やるからにはそういう地元受け入れ側の意識を改革していくことが大切だと思います。小松会長おっしゃる通り行政側にもそれは言えるのではないかと思います。どこかで転換を図る、やってみるといことがとても大切だと思います。</p>
小松会長	<p>先ほど言い忘れましたが、やはり私に来た年賀状の中で、小鹿野町に来たという方の中に越後屋旅館に囲碁で来ましたという方が2人いました。やはり何か特徴があると来るということで、特徴が必要だと思います。</p> <p>では、時間も経過しましたので議題はこれで終わりたいと思います。事務局から何かありますか。</p>
総務課長	<p>特にございません。</p>
小松会長	<p>審議事項は全て終了ということで、議長の座を下ろさせていただきます。</p> <p>本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p>
総務課長	<p>以上で、本日の会議を終了いたします。</p> <p>2年間大変ありがとうございました。</p>